教育研究所だより　東雲

第１００号
2015 年２月 19 日（木）

# 南部広域行政組合教育委員会　上原武教育長講話
# 「新しい回路をもとめて（出会い・繋がり）」

去った２月 18 日（水）に本南部広域行政組合教育委員会上原武教育長によるに「教育長講話」が行われました。

新任教員のスタートから、素晴らしい先生方と出会い、生徒指導上の問題を抱えた学校を「自分たちの手で変える」という強い意志のもと教育実践を続けた道のりと、そのときどきに支えてくれた人との出会い、その中から教育を真剣に捉え、多くの心動かす体験を積み重ねてきたことを情熱的に語る上原武教育長でした。

写真１　厚く思いを語る上原武教育長

**【講話の主な内容】**

**初めに**
- 厳しい社会でたくましく生き抜く子どもの育成を→ 教師力・人間力を身につけて欲しい
- 学級経営のためのレク（ハンカチ落とし　・あっち向いてホイ　・太郎さん）
  →子どもとの出会いの場、交流の場でのちょっとしたレク

**１　漢字遊び(処世術)漢字のおもしろさ発見**
- 人　・主　・恩　・人材　　→漢字の意味、楽しさ、漢字で遊ぶ

**２　新任教員の頃(育ててもらった 25 年)**
- 多くの素晴らしい先生方との出会い・学び
- 生徒指導上の苦労
- 学校を変えるという強い意志

**３　気付きと発想の転換**
- 仕事や家庭も忙しいかもしれないが、是非地域に入って欲しい。(関わり)
- 「一燈照隅　万燈照国」→「一燈」とは目標という意味。自分の足下を照らしつつ、周りにも手を差し伸べる。
- 「ロウソクは　身を減らして　人を照らす」「主」
- 気配り・心配り・目配り →児童・保護者・ 同僚にもぜひやってほしいこと
- 見抜く力の大切さ（言動や人との関わり方など）
- 問題や事件･事故への対応の仕方 → 事前に予兆がある（察する力が重要） 対応は迅速
- 粘り強く・丁寧に

**４　時中・時流(不易と流行)**
- 時中 → 相対立するものを統一して一段高いところへ進める。立派なリーダーは、その時その場で相応し、手を打ち、あらゆる矛盾や相克を克服して進歩向上していく。

**５　黄金くとぅば**
- 「桃李もの言わざれども　下自ら　道をなす」
- 三かき（あせかき、べそかき、はじかき）で成長を続けてほしい。
- 学校の中には成長するための目標となる先生がいる。その人のいい所を学ぶ。
- 未来の「未」には，道理に疎い，暗いという意味がある。何かをなそうとする時には障害がある。
- 教育は儚く，辛いこともあるが，信じることに向かって進んでいって欲しい。

**最後に**「堅忍不抜」→ 我慢強くこらえ、心を動かさないこと

**島尻教育研究所だより「東雲」も**
**おかげさまで１００号！**
**いつも目を通して頂き、ありがとうございます。**

後期教育研究員の感想（研修日誌から）

教育長講話では，講話題にある「出会い・繋がり」ということがとても印象に残りました。これまで上原武教育長が出会った先生方の名前がお話しの中にたくさん出てきており，そこから学ぼうという姿勢，そして学んだことを大切にしていく姿勢は素晴らしいと感じました。私も見習っていきたいと思います。また，文字や言葉・漢字１つ１つのもつ意味というものに触れることができ新しい視点に気づくことができました。中学校での生徒指導の現状と大変さを初めて知り，衝撃を受けると共に幼稚園の現場では？地域の人間としては？何ができるかを考えさせられました。学校現場や行政にも携わっている経験からの，学校での問題への対応策についてのお話しは具体的で勉強になりました。問題が起こった場合は誠意を持って迅速に対応していけるようにしていきたいと思います。私達教育研究員に望むこととして「教師力，人間力をのばしていく」ことをあげておられましたが，その意味を考え力をつけていけるように頑張りたいと思います。
たくさんの学びのある講話をしていただき，ありがとうございました。　（稲嶺あゆみ）

上原武教育長の講話は、教員の大先輩としての言葉の重みを感じました。始めは場を和ますようにレクゲームから始まりました。３つのゲームを紹介していただきましたが、どれも用具を準備しなくてもできるゲームだったので、学校でも活用したいと思います。また漢字遊びでは、漢字の意味だけでなく漢字を分解して視点を変えて見る楽しさも教えていただきました。漢字の見方の新しい発見もあり、他の漢字はどうかなと興味も出てきました。新任教員の頃の話では、素晴らしい先生方との出会いや生徒とのエピソードがどの学校にもあり、人との絆をとても大切にしていることや生徒指導の大変さ、学校を変えるという強い信念も講話の中で感じられました。また「気配り･心配り・目配り」や「見抜く力の大切さ」、「問題や事故等への対応の仕方」など、どれも現場にいる私たちへの強いメッセージが伝わってきて、改めて身の引き締まる思いがしました。初心を忘れず、また信念を持って児童と関わっていけるよう、「教師力・人間力」を磨いていきたいと思います。　（安座名有里）

「どんな講話をなさるのだろう」と畏まる気持ちを強く持って座席に着きました。すると、ハンカチを取り出しレクを始めるので驚きました。一気に緊張していた気持ちが和みました。お互いの緊張を解きほぐしてから話を始める技術は教師にとって重要なことだと改めて気づかされました。講話の中で、周りの人と協力することの大切さを学びました。子どもとの関わり、同僚との関わり、保護者との関わり、地域の一員としての関わりが何より大事だと言うことが分かりました。２つのことについて振り返りたいと思います。１つ目は、「勉強になる同僚を見つける」ことについてです。目標の先生の良さを真似ようと努力していますが、一朝一夕では身につかないものです。２つ目は「子どもに本気を見せる」ことについてです。子どもが荒れるのを子どもや家庭のせいにしないためにも毎日、本気で関わることの大切さを感じました。
上原武教育長これからの教員生活において道標となる講話を頂きありがとうございました。（勢理客貴之）

学級経営に悩んだことから，レクの講習に行ったという話を聞き，私も是非，今日習ったレクを学級でも使ってみたいと思いました。
新任教師の頃の話では，自分も多くの方から恩を受けて，育てて貰っているという事を改めて考えました。今は中堅と言われる年齢になっているので，自分もこれからは周りに何かを与えることができる人間になれればと思います。上原教育長は，自分が辛かった話も包み隠さず私たちに話して下さったのは、自分の体験が参考になればという想いからだったのだろうと思います。
問題・事件があった時の対応についての話では，誠意と迅速，粘り強さを持って対応して欲しいという事を教えて頂きました。
多くの言葉を頂きましたが，私は「三かき（あせかき、べそかき、はじかき）」の言葉を忘れずにこれからも成長する人間になりたいと思いました。　（比嘉俊雄）

現場を退いた今だからお話できることをたくさん聞かせて頂きました。私は教師になりたくて教師になりましたが、今思えば、駆け出しの頃は教師として稚拙な対応や、教師としての資質を疑いたくなるようなとりこぼしも多かった自分を思い出します。その頃の自分を今こうして冷静に振り返ることができるのは、あの先生みたいになりたいな、この先生みたいにできたらいいなと思える私にとっての「あの先生」「この先生」の存在があったからだと思います。自分を引きつける先生方の良さをしっかり自分のものにし、上原教育長の話された「人財」としてその先生方に近づく努力をしようと思います。また、生きる意味を示唆する数々の格言や言葉、そしてものを見る目を養っていく視点をも示して頂きました。プラスの３Ｋ（感動・希望・工夫）は人を教え、育む上では大事なキーワードだと思いました。教師として心を磨くこと、自分をいさめながらも謙虚にこの職を全うすること、「堅忍不抜」は私にとって新しい四字熟語との出会いになりました。これからの出会いにスイッチを入れ、つながっていける回路を私自身の中に作っていきたいと思います。上原武教育長、ご講話ありがとうございました。　（古謝栄子）